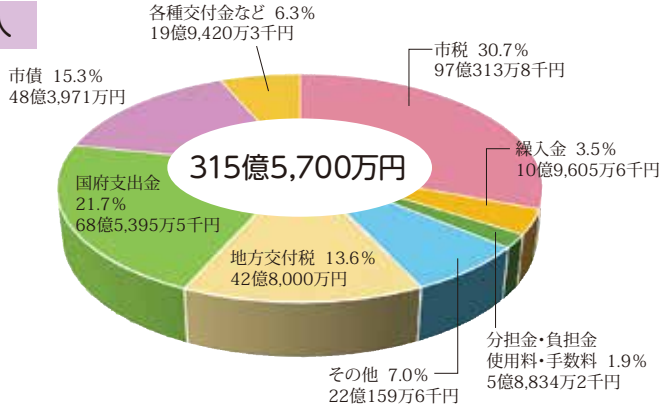
予算特別委の審査から

総額551億6,094万5千円

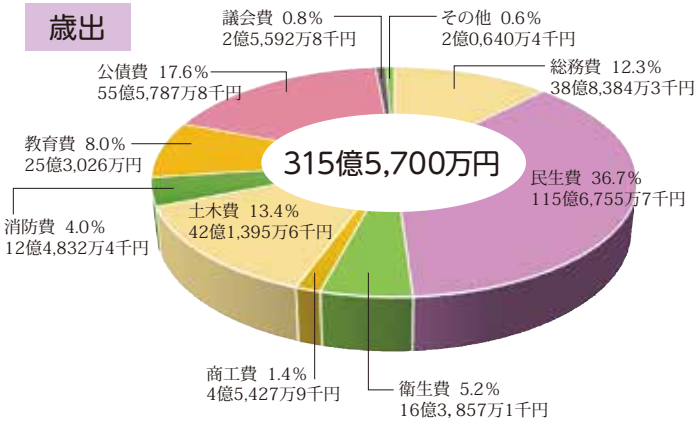
7会計の予算総額は551億6,094万5千円で、前年度より21億3,486万8千円、4.0%の増額となりました。一般会計は前年度に対し16億1,900万円、5.4%の増。特別会計は6億1,183万3千円、3.7%の増額となっています。

一般会計 歳入・歳出の内訳

歳入



歳出



予算特別委は、令和２年度当初予算７議案を審査し、一般会計と国民健康保険事業・後期高齢者医療の２特別会計は賛成多数、その他４会計は全員で可決しました。

委員会は、付託を受けた２月25日に正副委員長を互選、３月16日から延べ７日間にわたり、それぞれの視点から質疑を展開しました。

討論において一部委員は一般会計について▽セール・アンド・リースバックは地方自治体がとるべき施策ではない▽東部丘陵線整備に係る市負担は見直しが必要▽マイナンバー制度は見直すべき―と反対の意見を述べました。

一方、賛成の立場からは▽厳しい財政状況の中で、インフラ整備の大型事業だけでなく、福祉・教育にも工夫された予算▽未来への投資だけでなく、市民の安心・安全にきめ細かく細分されている―などの意見がありました。

予算特別委員会委員

◎委員長　○副委員長

◎奥村　文浩	○西　良倫	乾　秀子	
上原　敏	平松　亮	太田　健司	
増田　貴	相原佳代子	小松原一哉	
土居　一豊	本城　隆志	語堂　辰文	

皆さまの意見を市政へ ～議会報告会を開催～

令和２年２月８日に城陽市福祉センターで「これからの子育てと教育」をテーマに議会報告会を開催し、17人の参加がありました。

報告会では、学校教育の現状等について報告し、その後テーブルミーティング形式で意見交換を行いました。テーマに対する主な意見は▽子育てについて保護者同士が相談し合える場が必要▽子育て世代の公共施設利用料の値下げを▽若い世代を呼び込む施策を考えるべき―など。

また今後については▽これまで報告会で出された意見に対する回答を▽参加者増に向けたＰＲの再考を―などがありました。

なお会場で実施のアンケートの結果は、議会ホームページに掲載しています。いただいたご意見は、今後の取り組みに生かしていきます。

▲テーブルミーティングの様子＝２月８日

この広報紙は植物油インキを使用しています